

# 平成21年度事業報告書

## 1. 事業概況

当協議会は、澄んだ「空気」ときれいな「水」をテーマに、地球にやさしい環境保全をめざし、刷版～印刷のオフセット印刷工程から《Non-VOC》《Non-DRAIN》の実現に貢献してきました。その自己適合宣言マークとしての「クリオネマーク」(環境保護印刷マーク)による認証登録制度を厳格に運営してきましたが、明確な行動規範に基づいて、会員企業の業績向上につながる多彩な事業を展開してきた活動が評価され、印刷産業ではもちろん、社会的にも認められる存在になることができたといえます。

平成21年度の事業活動としては、印刷関連技術の向上や環境保護思想の高まりを受けて、認証ステータス登録基準を抜本的に改訂いたしました。対象項目に『洗浄剤』を加えたのははじめ、各ステータスとも認証の条件を高い水準に決めました。これまで柱としてきた「Non-VOC/Non-DRAIN」の理念を堅持すると同時に、グローバルな環境課題として関心の深い『CO<sub>2</sub>』の低減にも、焦点を当てたものとなっています。

平成21年度においては、この他、顧客企業を含む一般社会に向けてのPR活動に積極的に取り組み、「JGAS 2009」や「エコプロダクツ 2009」「PAGE 2010」に参画、さらには各種の情報誌、実用雑誌に広告を出稿して、協議会ならびに「クリオネマーク」の趣旨について周知徹底に努めました。

また恒例の「総会記念講演会」では、喫緊の対応策である「カーボンフットプリント制度」、創立5周年を記念する特別講演会では「低炭素社会の実現」をテーマに取り上げ、『CO<sub>2</sub>』の低減に関心を寄せる時代の要請に応えました。記念イベントについては、次年度においても国際フォーラムを開催できるよう、予算措置を講じています。

「会員交流会」の開催、会員情報誌「クリオネだより」の発行、ホームページの充実など、定例となった事業にも力を注ぎ、会員相互の有益な情報交換を通じて「環境経営」の実践を支援してまいりました。

これらの諸活動によって、認証登録制度の一層の浸透と会員の拡大に大きな成果をあげることができました。会員各社にも、環境保護に貢献している企業姿勢を、一般社会や顧客に示せる礎を提供できたと確信しています。

なお、平成21年度末における会員数は正会員139社、准会員11社、特別会員2団体、名

誉会員0社、協賛会員45社となっています。

## 2. 実施内容

### (1) 会議

#### ①総会

- ・平成21年度定時総会（平成21年6月19日）＝如水会館＝  
平成20年度事業報告書ならびに収支決算報告の承認、平成20年度剰余金処分案ならびに寄付金限度額の承認、平成21年度事業計画案ならびに収支予算案の承認、年会費改訂案(減額)の承認、認証登録基準改訂の承認

#### ②理事会

- ・第1回理事会・W/G合同会議（平成21年5月18日）  
定時総会に上程する所定議案、総会記念講演会の実施、総会プログラム(進行要領)、新「認証登録基準」(再確認分)の明確化、平成21年度年間スケジュール
- ・第2回理事会・W/G合同会議（平成21年7月28日）  
新登録基準(洗浄油の条件)の最終承認と施行スケジュールの検討、新「クリオネマーク」の作成、対応/推奨製品の申請登録(再構築)、ホームページ上の「入会フォーム」の見直し、デジタル印刷に関する意見交換、財団法人印刷図書館への寄付の報告
- ・第3回理事会・W/G合同会議(平成21年9月11日)  
新登録基準に関する解説書の確認、新クリオネマークの制定、対応/推奨製品の再構築、展示会への出展、創立5周年記念講演会の開催
- ・第4回理事会・W/G合同会議(平成21年11月24日)  
新登録基準の解説書の周知、対応/推奨製品登録の方法(電子版)、エコプロダクツ展への出展概要、デジタル印刷に関する基本方針の検討、「クリオネレポート2010」の刊行企画
- ・第5回理事会・W/G合同会議（平成22年2月15日）  
新登録基準についての進捗状況、環境保護印刷に資する付帯的条件の評価・評定のあり方、デジタル印刷バージョンのクリオネマークの検討、「E3PA」の英文表記の改訂、次年度事業の基本的方向

#### ③部会/ワーキンググループ会議

- ・第1回W/G合同会議（平成21年8月20日）  
新登録基準の確認と解説書の作成、申請書類の検討、展示会への出展
- ・第2回W/G合同会議（平成21年10月27日）  
対応/推奨製品の登録方法、解説書の確認、洗浄剤ベンダーへの案内
- ・第3回W/G合同会議（平成22年3月19日）  
対応製品についての申請内容の確認

### (2) 事業

#### ①定時総会記念イベント

- ・日 時＝平成21年6月19日
- ・会 場＝如水会館・松風の間/オリオンの間

・テーマ＝「カーボンフットプリント」はここまで進んでいる!!

—サプライチェーンから外されないために—

・参加者＝120名

・基調講演

演題 カーボンフットプリント制度の進展と今後

講師 須田 茂氏 社団法人産業環境管理協会 理事

・業界報告

演題 印刷業界の考え方と具体的な対応策

講師 油井 喜春氏 社団法人日本印刷産業連合会 業務推進部長

・会員交流会(懇親の夕べ)

## ②創立5周年記念特別講演会

・日時＝平成21年11月27日

・会場＝スクワール麹町3階「錦華の間」

・参加者＝110名

・演題＝低炭素社会の実現へ、私たちは何をすべきか？」

・講師＝山本 良一氏 東京大学生産技術研究所 教授

<同時企画 《省エネ》ミニセミナー>

『CO<sub>2</sub>』低減の現状を正しく理解するとともに、印刷業界として今後、どう対応していくべきかの心構えを学ぶ

「省エネ診断制度のあらましと『CO<sub>2</sub>』削減の取り組み事例」

講師＝林 眞一郎氏(東京都地球温暖化防止活動推進センター)

## ③展示会への参画

・JGAS2009(平成21年10月6日～10日)

印刷業界内へのPR展開を基本に、新登録基準の周知、会員マップ(ポスター・サイン)とパンフレットの配布を通じて、当協議会の浸透・啓発に努めた。

<会員交流会>の開催

会期中の10月8日に東京ファッションタウン会議室で開催し、会員相互の情報交換、同展出展の協賛会員との交流をはかった。

・エコプロダクツ展(平成21年12月10日～12日)

一般企業の印刷発注者や出展企業の関係者など対外的なアピールを基本に「印刷と環境」をテーマとするブースを特設、協議会のPRに努めた。とくに、スペースボックスの提供や大型ポスターの掲示、「全国会員名簿2009年版」の配布などによって、会員との取引促進の機会を設けた。

・PAGE2010(平成22年2月3日～5日)

准会員の加入促進を眼目とする広告冊子(パンフレット)を作成、入場者への配布を委託することで、会員企業への発注とクリオネマーク活用のメリットを訴えた。

## ④情報誌「クリオネだより」の発行及びホームページにバックナンバーを掲載

今年度から協議会の活動状況報告や今後の情報提供などを、適時にお知らせするために情報誌「クリオネだより」を発行した。及びバックナンバーは、当協議会のホームページにも掲載、一層利用しやすいよう便宜をはかった(年3回発行)

・No.1 (平成21年7月号)

内容＝定時総会の状況報告、カーボンフットプリント制度の紹介、新「登録基準」の提示

- No..2 (平成21年9月号)  
内容＝JGAS展/エコプロダクツ展への参加呼び掛け、印刷図書館への寄贈、新登録基準の解説、一般商業誌での記事紹介、GP マーク製品認証制度
- No..3 (平成21年12月号)  
内容＝CO<sub>2</sub>低減への貢献、新しいクリオネマーク、エコプロダクツ展への出展、特別講演会の開催、記念講演の要旨、CO<sub>2</sub>排出量積算についての提案
- ⑤E3PAメーリングリストで情報配信  
情報誌「クリオネだより」と併合するように、『会員情報』の一環として『メーリングリスト』を通じて、登録した会員の皆様に【環境保護印刷推進協議会(E3PA) INFORMATION】と題して、各種の情報提供をメーリングリストで配信した。

### (3) その他

- ①「印刷環境ソリューションフォーラム大阪2009」に協賛(平成21年5月28日)  
CO<sub>2</sub>削減を通して環境経営に関わる意識と取り組み機運の向上をはかる、という目的で開催された上記イベントに名義を貸与し、趣旨の徹底に寄与した。
- ②認証登録基準の改訂に伴う参考資料を会員に配布(平成21年6月19日)  
改訂基準を工程・資材別、ステータス別に整理した一覧表を、印刷方式ごとに作成、定時総会の開催前後に会員に送付して、参考に供した。
- ③環境保全事業団体へ寄付(平成21年6月25日)  
平成20年度剰余金に基づく「環境保全基金」を財団法人印刷図書館に寄付し、同館における環境関連図書コーナーの設置と、趣旨の業界発表を支援した。
- ④協議会活動に関する記者懇談会(平成21年9月18日)  
平成21年度下半期における一連の事業活動を説明するために、印刷業界紙向けの記者会見をおこない、業界に対する理解と周知を仰いだ。
- ⑤JGAS2009会場案内パンフレットに広告掲載(平成21年10月6日)  
総合印刷機材展である同展に際し、会期中、入口で配布される会場案内パンフレットに、当協議会の理念を掲げた広告を出稿し、存在をアピールした。
- ⑥新登録基準の施行に伴う対応/推奨製品登録の要請(平成21年12月15日)  
協賛会員各社ならびに洗浄剤ベンダー各社あてに、新たに登録を要請するお願い状を、解説書同封で送付、新基準実施のための条件を整えた。
- ⑦商業雑誌/実用雑誌に記事掲載(平成21年7月、12月、平成22年3月)  
本年度内に次の4誌に、クリオネマーク利用のお奨めに関する記事、ならびにクリオネマークが掲載された。
  - ・企業の総務部門の管理者を対象とする月刊「総務」(ナナ・コーポレート・コミュニケーション発行)
  - ・若者向けの生活情報誌「DIME」(小学館発行)
  - ・社内報編集のための実務情報誌「月刊 Commu-Suppo」(ナナ・コーポレート・コミュニケーション発行)
  - ・化学に関するやさしい解説書「決定版! 感動する化学」(東京書籍発行)
- ⑧印刷工業会のホームページに出稿(平成22年3月10日)  
営業マンツール「ご存知ですか? このマーク」(ホームページ版)に「クリオネマーク」の趣旨と認証制度の概要、活用のメリットが掲載された。
- ⑨これまでの「認証登録基準」(協議会の発足から)が、次年度(平成22年度)から新たに

改訂した「認証登録基準」に移行するため、従来の「認証登録基準」入会申請の受付を終了(平成22年3月31日)した。

次年度(平成22年度)からは、環境対応の条件が新登録基準に即している場合のみ、新規会員の加入を受け付けることとなった(ただし、現会員は平成23年3月31日までは適用し、この間に再登録申請して、平成23年4月1日は新登録基準に移行していること)。

- ⑩ 社団法人日本印刷産業連合会が実施する「印刷産業環境優良工場表彰」応募申請する際に、第9回(平成22年度)から当協議会「クリオネマーク」の認証登録、取得の有無の記載欄が設けられた。